

20120730

2012年7月30日　日本テレビ 定例記者会見

《要旨》

1. ルーヴル美術館との協力協定

パリのルーヴル美術館と新たな協力協定を締結した。日本テレビがルーヴル美術館の絵画展示スペースの改修等に協力する一方、2018年から2034年まで4年ごとに日本で大規模なルーヴル美術館展を開催する。日本テレビは長年にわたりルーヴル美術館に協力し、「モナリザ」展示ホールのリニューアル、「ミロのヴィーナス・ギャラリー」の改修、さらに現在「サモトラケのニケ」の修復作業に携わっている。世界的な芸術遺産を保全し、展示環境の整備を推進する一方で、世界最高峰の美術作品を日本で公開する事で、芸術遺産の保護および、文化・芸術の共有を今後も進めていく。

2. 視聴率動向と編成戦略

・視聴率動向

視聴率は7月の月間三冠王を獲得したが、ライバル局と比較しても特に抜きん出ている状況ではなく、激しい競争となっている。引き続き、質の高い番組を製作・放送し、視聴者の皆さまの期待に応えていきたい。

・7月期ドラマ

水曜ドラマ「トッカン 特別国税徴収官」の視聴率はもう少し上昇する事を期待している。井上真央さん主演の優れた内容で、ややもすると難しい「税金」をテーマに、できる限り視聴者の皆さまに分かりやすくお伝えする工夫をしている。今後新たな展開もあり、さらなる盛り上がりを期待している。

土曜ドラマ「ゴーストママ捜査線 僕とママの不思議な100日」は仲間由紀恵さん主演で、親子で観て頂きたいとの狙いは十分にご支持を頂けており、今後視聴率は上昇すると見ている。オーディションから選ばれた子役の君野夢真さんがすごく魅力的で、新しいスターが生まれる予感もする。

・番組編成

現在の番組編成の弱点ははっきりしており、火曜21時と木曜19時の改編に全力を擧げていく。レギュラーの帯番組は好調で昨年よりも視聴率が上昇し、

さらに上昇傾向にあるため、ゴールデンタイムとプライムタイムの補強を徹底していく。特番にも力を入れるが、レギュラー番組の充実を最優先し、視聴者の皆さまやスポンサーの各社にもご満足頂きたい。

またネットワーク局を含め、スポンサーニーズの高い層の視聴率上昇がいい結果をもたらしているため、キー局としてこうした層を意識した番組編成を続けると共に、ご家族全員でご覧頂ける番組を第一に製作していく。

3. 営業状況と放送外収入

・ 営業状況

第1四半期の放送収入は前年比 113.1%で、前々年比でも 106.3%であり、第1四半期の放送収入は好調であった。タイムセールスは前年比 105.7%、スポットセールスは前年比 120.7%で、大震災の影響をより受けているスポットセールスが反動で大幅な伸びとなった。またスポットセールスで重要視しているシェアは、前年比 0.1 ポイント増と伸張している。

スポットセールスは 7 月が約 106%の見通しだが、8 月以降は現時点で順調と言える状況ではなく、先行きが不透明。

24 時間テレビのセールスは、協賛社 6 社が既に決定している。24 時間テレビに対するスポンサー各社の好感度は年々高まっていると感じている。

今後は秋の改編に向けて、タイムセールスに重点を置いていく。

・ 映画事業

7 月 21 日(土)公開の細田守監督作品「おおかみこどもの雨と雪」が好調なスタート。おおかみおとこと人の間に生まれた 2 人の子どもとその母親の成長の物語で、9 日間で 80 万 4,000 人の観客動員、興行収入は 10 億円を上回る。大きな手応えがあり、多くの夏休みの子どもたちに見て頂けると期待している。

「それいけ！アンパンマン よみがえれ バナナ島」は映画アンパンマンの第24 弾で、26 日間で 27 万人にご覧頂いた。これまでの作品と比べても好成績を感じている。

・ イベント

「大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の 400 年」は 4 月 25 日(水)から 7 月 16 日(月)まで六本木の国立新美術館で開催し、総入場者は約 39 万 5,000 人、1 日平均約 5,400 人となった。国立新美術館の入場者数としては歴代 5 位。

「館長庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見る昭和平成の技」は東京都現代美術館で 7 月 10 日(火)から始まり、エヴァンゲリオンの庵野秀明監督が館長

を務め、子ども時代に夢中になった特撮番組や映画を思い出して頂ける展示。予想を大きく上回る入場者数で、1日5,000人を超えた日もある。この展覧会のために製作した映画「巨神兵東京に現る」は特撮映画の最高傑作とも言える素晴らしい内容。

「汐博2012」は汐留の日テレプラザ全体で7月25日(水)から8月26日(日)までの1ヶ月の開催となる。開幕から5日間の入場者数は20万人を超え、最初の週末の2日間では9万2,000人にお越し頂いた。映画「エヴァンゲリオン新劇場版Q」の綾波レイの巨大スライダーや日本テレビの各番組のコーナーを設けて、家族連れをはじめとして、お楽しみ頂いている。

4. その他

・「芸能★BANG」

「芸能★BANG」は7月13日のBPO放送倫理検証委員会で審議入りが決まつたほか、視聴者の皆さまから多数のご批判、ご意見があった事を重く受け止めていた。今後は放送倫理検証委員会の審議に全面的に協力し、その推移を見守りたい。また同番組については、視聴者の皆さまからのご批判やBPOの放送倫理検証委員会での議論等も重視した上で、番組編成全体の改編の必要性等も合わせて総合的に7月17日での終了を決定した。番組製作にあたっては、不適切な表現等がないよう研修等を通じて再発防止の徹底を図っている。

・「JoinTV」全国展開とゴールデンタイム実施

Facebookと番組を連動させる「JoinTV」を「金曜ロードSHOW!」の映画「サマーオース」で実施し、初の全国展開およびゴールデンタイムでの展開となつた。「JoinTV」はまず、3月に関東ローカルの深夜番組「iCon」で3回行い、その後「PON!」で朝の時間帯に1週間、静岡や中京地域も含めて実施した。今回初めて全国放送となり、いい評価を頂いている。SNSはテレビのリアルタイム視聴と親和性があり、SNS向けの話題等を番組から提供できれば、SNSでの盛り上がりにもつながると見ている。

・ライフビデオ

日本テレビグループの新会社「ライフビデオ」を7月2日に設立。社長は名物ディレクターである土屋敏男・日本テレビ編成局専門局長兼日テレックスオンエグゼクティブディレクター。いわゆる「自分史」を製作するもので、日本テレビの資料映像や読売新聞の140年分の縮刷版も織り込みながら、日本テレビの制作技術で一般の方の半生を映像化する。これまでに多数の問合せを頂

いている。

(了)